

「災害死ゼロのまち」を目指して②

問い合わせ 総務課 ☎2119

「災害死ゼロのまち」を目指して、一人一人があらゆる自然災害から、命を守るために適切な行動がとれるよう、先月号と今月号の2回にわけて、5つの「行動目標」を紹介しています。

おれんこ

先月号では災害から命を守るための行動として「知る」「察知する」「行動する」の3つを紹介しました。

①「知る」

身の周りの災害危険箇所や災害時の避難場所を把握しておきましょう。

②「察知する」

災害から命を守るために、危険を知らせる気象情報や避難情報などを自ら積極的に確認するようにしましょう。

③「行動する」

災害から命を守るために自ら判断して適切に行動しましょう。

①～③を踏まえて今月号では、普段から災害に備えるための行動である「学ぶ」「備える」を説明します。

災害に備えるための行動「学ぶ」「備える」とは

④「学ぶ」

県や市、地域で行われる防災講演会・防災教室、防災訓練に参加しましょう。

命を守るための行動である「知る」「察知する」「行動する」を実践したり、正しく理解しているかを確認するためには、防災講演会・防災教室で学ぶことが重要です。

防災訓練は、消火訓練や炊き出し訓練の他にも、自分たちの地域で災害発生の恐れがある危険箇所などを確認する「まち歩き」も効果的です。本市でも、まち歩きを行い、地域独自の浸水場所などを示したハザードマップを作成している地域があります。

防災訓練などに積極的に参加し、防災に関する知識や実践的な行動力を身に付けておきましょう。

⑤「備える」

食料などの備蓄や非常時持

ち出し品の準備、家具の転倒防止を行いましょ。

自然災害は、いつどこで発生するか予測しにくいものです。中でも、いきなりやってくる大地震は事前の察知ができません。各家庭で水や食料の備蓄、非常時持ち出し品の準備、家具の転倒防止など、備えることが必要です。

地域内でも、災害時の地域住民同士の連絡網や、安否確認体制を構築しておく必要があります。また、地域内で、災害時に自分一人では避難が難しい方の支援者をあらかじめ決めておくようにお願いします。

一人一人が「災害死ゼロのまち」づくりの原動力です

「知る」「察知する」「行動する」「学ぶ」「備える」、この5つの行動目標を履行し、より効果的に推進していくための原動力は、皆さん一人一人です。

「災害死ゼロのまち おおたけ」を目指して、一人一人ができることから始めましょう。

非常時持ち出し品をチェックしましょう！

食料・飲料水

準備できたらチェック！



ミネラルウォーター、乾パン、缶詰など火を通さなくても食べられるものなど

衣料品

準備できたらチェック！



下着、上着、タオルなど

ラジオ・懐中電灯など

準備できたらチェック！



携帯ラジオ、懐中電灯(予備電池は多めに)、ライターなど

貴重品

準備できたらチェック！



現金、預金通帳、免許証、健康保険証などの貴重品

医療品

準備できたらチェック！



包帯、傷薬、胃腸薬、ばんそうこう、鎮痛剤、服用中の薬など
※ 常備薬は必ず入れておく

その他

準備できたらチェック！



眼鏡、補聴器、入れ歯、紙おむつ、生理用品、母子手帳、哺乳瓶、携帯電話の充電器など